平成30年第5回邑南町議会定例会(第2日目)会議録

1. 招集年月日 平成30年9月3日(平成30年8月23日告示)
 2. 招集の場所 邑南町役場 議場
 3. 開 会 平成30年9月10日(月) 午前 9時30分
 散会 午前10時00分

4. 応招議員

議席	氏 名	議席	氏 名	議席	氏 名	議席	氏 名
1 番	大和 磨美	2 番	瀧田 均	3 番	平野 一成	4 番	和田 文雄
5 番	宮田 博	6 番	漆谷 光夫	7 番	大屋 光宏	8 番	中村 昌史
9 番	日野原 利郎	10 番	清水 優文	11 番	辰田 直久	12 番	亀山 和巳
13 番	石橋 純二	14 番	三上 徹	15 番	山中 康樹		

5. 不応招議員 なし

6. 出席議員 15名

議席	氏 名	議席	氏 名	議席	氏 名	議席	氏 名
1 番	大和 磨美	2 番	瀧田 均	3 番	平野 一成	4 番	和田 文雄
5 番	宮田 博	6 番	漆谷 光夫	7 番	大屋 光宏	8 番	中村 昌史
9 番	日野原 利郎	10 番	清水 優文	11 番	辰田 直久	12 番	亀山 和巳
13 番	石橋 純二	14 番	三上 徹	15 番	山中 康樹		

7. 欠席議員 0名

議席	氏 名						

8. 地方自治法第121条第1項の規定により、説明のため会議に出席した者の職氏名

職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
町 長	石橋 良治	副町長	日高 輝和	総務課長	服部 導士
管財課長	朝田 誠司	定住促進課長	三上 直樹	企画財政課長	柳川 修司
町民課長	種 由美	税務課長	種 文昭	福祉課長	沖 幹雄
農林振興課長	植田 弘和	商工観光課長	日高 始	建設課長	土崎 由文
水道課長	川中 栄二	保健課長	口羽 正彦	会計課長	渡邊 庸子
羽須美支所長	服部 勲	瑞穂支所長	川信 学		
教 育 長	土居 達也	学校教育課長	洲濱 浩敏	生涯学習課長	大橋 覚

9. 本会議に職務のため出席した者の氏名

議会事務局長 大賀 定 事務局統括課長補佐 日高 泉

10. 町長提出議案の題目 別紙のとおり

11. 会議録署名議員の氏名

議席	氏 名	議席	氏 名
12 番	亀山 和巳	13 番	石橋 純二

12. 本日の会議の大要は別紙のとおりである。

平成30年第5回邑南町議会定例会議事日程(第2号)

平成30年9月10日(月) 午前9時30分開議

開議宣告

議事日程の報告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 議案の質疑

議案第67号 平成29年度邑南町一般会計歳入歳出決算の認定について

議案第68号 平成29年度邑南町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第69号 平成29年度邑南町国民健康保険直営診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第70号 平成29年度邑南町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第71号 平成29年度邑南町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第72号 平成29年度邑南町電気通信事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第73号 平成29年度邑南町水道事業会計決算の認定について

議案第74号 邑南町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

議案第75号 邑南町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

議案第76号 邑南町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部改正について

議案第77号 平成30年度邑南町一般会計補正予算第3号について

議案第78号 平成30年度邑南町国民健康保険事業特別会計補正予算第2号について

議案第79号 平成30年度邑南町国民健康保険直営診療所事業特別会計補正予算第3号について

議案第 80 号 平成 30 年度 邑南町 後期高齢者医療事業特別会計補正予算第 1 号について

議案第 81 号 平成 30 年度 邑南町 下水道事業特別会計補正予算第 2 号について

議案第 82 号 平成 30 年度 邑南町 電気通信事業特別会計補正予算第 1 号について

日程第 3 委員会提出議案の上程、説明、質疑、討論、採決

発委第 2 号 邑南町議会基本条例の一部改正について

平成30年第5回邑南町議会定例会(第2日目)会議録

【平成30年9月10日(月)】

—— 午前9時30分 開議 ——

~~~~~○~~~~~

開議宣告

- 山中議長(山中康樹) おはようございます。定足数に達しておりますので、これより、本日の会議を開きます。本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりでございます。

~~~~~○~~~~~

日程第1 会議録署名議員の指名

- 山中議長(山中康樹) 日程第1、会議録署名議員の指名をいたします。12番、亀山議員。13番、石橋議員。お願いをいたします。

~~~~~○~~~~~

日程第2 議案の質疑

- 山中議長(山中康樹) 日程第2、議案の質疑。これより、議案の質疑を行います。議案第67号から議案第73号までの質疑につきましては、歳入、歳出全般にわたっての質疑とさせていただきます。質疑の際は、あらかじめページ数を示して、これを行っていただきますようお願いをいたします。はじめに、議案第67号に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

- 中村議員(中村昌史) 8番。

- 山中議長(山中康樹) 8番。

- 中村議員(中村昌史) ええ、決算書46ページ。ええと、諸収入の内の雑入、ええ、過年度補助金等返還金。そこに介護保険事業町負担金返還金、7,28万がございしますが、これは28年度分のことだと思いますけども、この返還金が判明したのはいつ頃のことなのか。それから、108ページの歳出の方の民生費の備考欄04、総合事務組合負担金、介護保険課、3億1,526万ですが。これについて、ええ、28年度と同様に過不足が生じる可能性があるのか、あるとすればいつ頃わかるのか、その辺を教えてください。

(議事中断)

- 沖福祉課長(沖幹雄) 議長、番外。

- 山中議長(山中康樹) 沖福祉課長。

- 沖福祉課長(沖幹雄) ええと、まず、あのお、過不足の関係でございますが、本年7月19日の邑智郡介護保険担当課長会議にて、数字を示されております。それから、ええと、負担金でございますが、介護保険の方はいろんな給費等変動がございます。それから、事務費の方も変わってきますので当然、変更というか過不足は生じてくると思います。

- 沖福祉課長(沖幹雄) 議長、番外。

●山中議長(山中康樹) 沖福祉課長。

○沖福祉課長(沖幹雄) すいません。ええと、今年度のものについても、また同様に、同じくらいの時期に精算といった形になる、なる予定でございます。

(議事中断)

○沖福祉課長(沖幹雄) 議長、番外。

●山中議長(山中康樹) 沖福祉課長。

○沖福祉課長(沖幹雄) すいません。一年ほど間違えておりました。ええと、この決算の数字についても、昨年、同様の時期、7月くらいだったと思いますが、そこで示されております。すみません、先ほど私が申しましたのが、ちょっと、すみません、補正の関係だと思っております。失礼しました。

●中村議員(中村昌史) はい。

●山中議長(山中康樹) 中村議員。

●中村議員(中村昌史) はい、ええと、なぜこれを問いましたかということですけども。あのお、ええ、2、3年前だったと思いますが、ええ、委託料の精算について、年度を超えて返還金が発生しておったものを、年度内にわかるようにならんかという話をさしていただいたことがあります。それから、あのお、この補正予算で、昨年度の未払金を支払うための補正予算、業務委託に伴う、指定管理に伴う精算の、昨年度分の支払いのための補正予算が計上されております。と、そういうふうなことから、ええとですね、考えてできるだけ年度内にきちんとすべき所はすべきではないだろうかという思いからです。で、まあ、介護保険については、ええと、保険給付については、まあ、邑南町が保険者でないので、事業について事務組合にお任せしている部分があって、これだけかかりましたといふようなことで精算が生じてくるというのもわからなくもないんですが。できれば、その、ええと、年度内と言いますか、今、複式の考え方が入ってきておりますけども。要は出納整理期間の5月末までのところで、ええ、複式の記入をすることなんだろうと思います。3月31日が年度末ですけども、その時点で未収、未払いというふうなことをきちっと上げるんじゃないかと、5月末の時点での未収、未払いというか、そこできちんとするというふうな複式の発想なんだと思いますが。あのお、その時点でもう、ええと、今の介護保険については、7月だということだったんで、5月末ではわからないということがあるかもしれないんですが。あのお、5月末で未収、未払いが発生しておるものについては、その時点で複式簿記の扱いはできないのか、考え方としてですね、ええと、そういった点をちょっとお聞きしたい。あのお、決算書というのは、地方自治法や地方、施行規則によって細かく書式が決まっておって、単年度の現金主義で決算書を作らなきゃいかんということがうたわれておるようではありますが。複式の考え方を入れてというのは、今からやっていかなきゃいかん、あのお、行財政改善の実施計画の策定であるとか、個別の、ええ、なんでしたっけ、管理計画ですね、策定であるとか、そういったことを今から進めて行く上で、あ

のお、一番基本になるのはやっぱりこの決算だろうと思うんで、その決算が、決算書にこれが、上がった数値が翌年度、実はこのうわにこれだけありましたとか、いや実はここまでかかっていませんでしたというふうなことが、出てきたんではその判断のもとになるものが、こうあやふやになってしまうんで、そののところがなんとかならいかというところ、思いからです。ええ、そういったことの基本的な考え方ですけども、ええ、どういうふうに対応しようとされておるのかお伺いしたい。

○柳川企画財政課長(柳川修司) 議長、番外。

●山中議長(山中康樹) 柳川企画財政課長。

○柳川企画財政課長(柳川修司) はい、失礼します。ええと、前段の年度内の精算につきましては、可能な限りやろうということで行っておるところです。ただ、あのぉ、一般企業に対する委託金の場合は、一般企業の場合は3月31日で決算を行われるので速やかに年度内精算がどきようかと思いますが、事務組合の場合は特別地方公共団体に該当しますので、国、県同様、出納閉鎖期間がございます。ええ、そういった意味で5月31日をもって出納を閉めますのでなかなか難しい所はあろうかと思いますが、可能な限りその方向でやっていきたいというふうには考えております。また、後段の公会計の関係でございますが、まず、通常の決算は議員申し上げられ、お話になられましたように地方自治法の適用がございますが、公会計については地方自治法から来たものではなく、あくまでも国からの要請で作成しておるところでございます。で、その作成の仕方につきましては、統一的な基準に基づく公会計の作成要領というのがございますので、これに基づいて作成しております。その関係上、あのぉ、おっしゃるとおり、確かに計上されない数字というものであるとかですね、必要以上に計上される数字があろうかと思いますが、で、この場合ですね、それぞれの会計で見ますと確かに大きい数字が上がってくるかと思いますが、最終的には連結で表示をさせますので、総合事務組合等もですね、含めた数字になりますので、そういった所は相殺されようかというふうには考えております。

●中村議員(中村昌史) 8番。

●山中議長(山中康樹) 中村議員。

●中村議員(中村昌史) あのぉ、決算全体の話ではなくて、今からやろうとするのは個別の事業について洗い直しをしましょうということが、今からやらにゃきゃいかんことなんで。ええ、それぞれの事業について正確な数値を把握する必要がありゃあしないかということ。ですから、連結だからいいですよという話ではなくてですね、ええと、単年度でできる限り、あのぉ、数値を把握する。例えば今の、この介護保険について言うと、ええ、組合の出納整理期間があつて、それを過ぎてからでないとしてこないというのはわからないでもないですが。あのぉ、公会計のその複式簿記のものについては、決算書ではなくて、あくまでも決算資料であるわけですから、それをいかに活用するかということが今から必要な、になってくるんで、その中であらかじめわかるものは、確定をしなくてもこ

れぐらいなものというものは、つかみとして持つておくべきではないかと。で、決算書は決算書です。これは、あのお、国の地方自治法に基づいたものですんで、これは、を変えてくださいということは言いませんが、その決算資料となる新たな公会計というものについては、出来るだけ活用しやすいように運用を考えていくべきではないかと思っておりますので、その辺を、個別の所をどういうふうにとらえられるかをお聞かせください。

○柳川企画財政課長(柳川修司) 議長、番外。

●山中議長(山中康樹) 柳川企画財政課長。

○柳川企画財政課長(柳川修司) はい、ええと、公会計につきましては、今年度、29年度決算分、失礼しました、28年度決算分について、公表をさせていただいたところがございます。で、まだ、これが本来統一的な基準に基づく公会計というのは、使えるということが目的になっておりますが、まだ、あのお、作成の方に傾注いたしておりまして、使えるものにはなかなか労力等が注ぐことが出来なくて、なっていないのが現実でございます。ええ、今後、議員おっしゃるとおり使えるような形に進めて行きたいと思っておりますので、個別の事業につきましても、お話しのとおりできるだけ押さえていきたいというふうと考えております。

●山中議長(山中康樹) ほかにありませんか。ありませんか。

(「ありません」の声あり)

●山中議長(山中康樹) それでは、無いようですので、議案第67号の質疑を終わります。続きまして、議案第68号に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

(「ありません」の声あり)

●山中議長(山中康樹) 無いようですので、議案第68号の質疑を終わります。続きまして、議案第69号に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

(「ありません」の声あり)

●山中議長(山中康樹) 無いようですので、議案第69号に対する質疑を終わります。続きまして、議案第70号に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

(「ありません」の声あり)

●山中議長(山中康樹) 無いようですので、議案第70号の質疑を終わります。続きまして、議案第71号に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

(「ありません」の声あり)

●山中議長(山中康樹) 無いようですので、議案第71号の質疑を終わります。続きまして、議案第72号に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

(「ありません」の声あり)

●山中議長(山中康樹) 無いようですので、議案第72号の質疑を終わります。続きまして、議案第73号に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

(「ありません」の声あり)

●**山中議長(山中康樹)** 無いようですので、議案第73号の質疑を終わります。続きまして、議案第74号に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

●**山中議長(山中康樹)** 無いようですので、議案第74号の質疑を終わります。続きまして、議案第75号に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

●**山中議長(山中康樹)** 無いようですので、議案第75号の質疑を終わります。続きまして、議案第76号に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

●**山中議長(山中康樹)** 無いようですので、議案第76号の質疑を終わります。次に、議案第77号から議案第82号までの質疑につきましては、歳入、歳出全般にわたっての質疑とさせていただきます。質疑の際は、あらかじめページ数を示して、これを行っていただきますようお願いをいたします。はじめに、議案第77号に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

●**山中議長(山中康樹)** 無いようですので、議案第77号の質疑を終わります。続きまして、議案第78号に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

●**山中議長(山中康樹)** 無いようですので、議案第78号の質疑を終わります。続きまして、議案第79号に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

●**山中議長(山中康樹)** 無いようですので、議案第79号の質疑を終わります。続きまして、議案第80号に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

●**山中議長(山中康樹)** 無いようですので、議案第80号の質疑を終わります。続きまして、議案第81号に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

●**山中議長(山中康樹)** 無いようですので、議案第81号の質疑を終わります。続きまして、議案第82号に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

●**亀山議員(亀山和巳)** 議長。

●**山中議長(山中康樹)** 12番、亀山議員。

●**亀山議員(亀山和巳)** はい、7ページですね、歳出の方の7ページの、ええと、今回の補正では、施設維持費として675万が計上されております。これは、あのお、総務教民の資料を見ますとTAの購入費とあるんですが。ええと、このNEC製のTAというのは、もう製造中止になったとも聞いておりますが。あのお、なかなか、今、雷でIP電話が不

通の箇所が多いということもあります。これは、ええと、購入費、およそ何台ぐらいを購入して、今の故障の状況を、それから I P 電話全体の状況というものを教えてください。

○服部総務課長(服部導士) 番外。

●山中議長(山中康樹) 服部総務課長。

○服部総務課長(服部導士) ええ、今回の補正の関連ですけれど、おっしゃったように今回は T A、ターミナルアダプタを購入するものでございまして、台数は 5 0 0 台を予定しております。はい。ええ、この要因なんですけれども、ええ、実はこの、おっしゃったように、この機器につきましては、すでに製造中止が決まっております、それで今、流通をしておりますものを、とにかく確保しておこうということが一つの、あの、考えでございます。というのは、もう製造中止になっておりますので、今の I P 電話そのものを今後どうしていくのかっていうところをやはり考えて行く必要があります。ただ、現在、あの、たくさんご利用になっていらっしゃるし、それになるべく継続していきたいという気持ちもありますけれども、まあ、いつもでも、これも、機器が持つものでもございませぬし、ある程度、あの、数年は出来るようにですね、思っ購入を、今回しており、する予定でございます。ええ、今後につきましては、どうするのかということがありますけれども、いろいろ、あの、案はございますけれども、実際、こうして無料で、I P 電話使用していただいておりますけれども、なかなか経費の負担も、今からこれをほいじゃあ別の I P にするのかというと、たいへん、膨大な経費が掛かってきますので、ええ、そういうことよりも別の方法がありはしないか、ということで今研究をしているところでございまして、ええ、ただすぐにはそのことを決定するわけにはいきませんので、ええ、研究の期間も必要ですし、おおむね必要となる台数をですね、確保することと、まあ、一般的に言われたように雷が落ちてですね、機械が故障するというものについては、あの、いくつかを集めて、再生品を作るということも踏まえながら、少しもたせたいなという意味合いで、今回この購入をお願いしております。ええとですね、あの、今の I P 電話の現状ですけれど、おっしゃったように、あの、特に去年、おとどしぐらいにですね、かなり雷の発生において、T A が故障しておりますけれども。まあ、今年に至ってはそんなには多くの発生をしていないんですけれども。私どもの方からお願いしておるのは、あの、一般的には、電話機一台で N T T と I P が両方使えるようにしております。ええ、この場合ですね、あの、I P の場合は光回線を使って、直接、おりますので、これについては光ですので、雷が入ることはまずありません。反対に N T T 回線は鉄ですので、線が、そのため雷の影響を受けて入ってくるんですけれども、その時にどうしても T A を経由します。そのために、よって T A が壊れていくというのが実態なんです。それで、そういうことのお知らせをお願いをしていったりですね。数回、あの、T A が壊れたようなお宅については、今の電話機を二台にさせていただくようなことをまたお願いをしております。ええ、I P 専用電話と N T T 回線専用電話、二つ持っていただくようお願いをするようにして

おります。また、あのお、必要があれば、あのお、室の方にございます I P 専用の電話を
です、ま、お貸しすることもできますので、いろいろと御検討いただければと思っ
ております。

●山中議長(山中康樹) ほかにはありませんか。

(「ありません」の声あり)

●山中議長(山中康樹) 無いようでございますので、議案第 8 2 号の質疑を終わります。以
上で、議案第 6 7 号から議案第 8 2 号までの質疑は、すべて終了いたしました。

~~~~~○~~~~~

日程第 3 委員会提出議案の上程、説明、質疑、討論、採決

●山中議長(山中康樹) 日程第 3、委員会提出議案の上程、説明、質疑、討論、採決に入りま
す。

~~~~~○~~~~~

(発委第 2 号)

●山中議長(山中康樹) 発委第 2 号、邑南町議会基本条例の一部改正について、を議題といた
します。提出者の説明を求めます。

●大屋議会運営委員長(大屋光宏) 議長。

●山中議長(山中康樹) 大屋議会運営委員長。

(委員長登壇)

●大屋議会運営委員長(大屋光宏) 発委第 2 号の説明をいたします。発委第 2 号、平成 3 0 年
9 月 1 0 日、邑南町議会議長、山中康樹様。提出者、議会運営委員会委員長、大屋光宏。邑
南町議会基本条例の一部改正について。上記の議案を別紙のとおり、会議規則第 1 3 条第 3
項の規定により提出します。提案理由です。条例、予算、決算など、議会が議決しなければ
ならない事件は、地方自治法第 9 6 条第 1 項で定められています。これら以外のものを議決
事件とする場合は、地方自治法第 9 6 条第 2 項により条例で定める必要があります。邑南町
は、邑南町議会基本条例第 8 条により、邑南町独自の議決事件を定めています。今回の改正
は、町が策定する多くの計画の内、町政各分野の方向性を定める計画の制定及び改廃で、議
長が必要と認めるものについて、議決事件とするための改正です。ええと、新旧対照表をご
覧ください。第 8 条 (1) は、基本構想、基本計画と別々に記述していたものを邑南町総合
振興計画として一つにまとめて明記するものです。(2)には、新たに町政各分野の基本的な
方向性を定める計画の制定及び改廃に関する事の内、議長が必要と認めるものを追加しま
す。本来は計画名を明記すべきところですが、国の政策や町の課題により、今後どのような
計画が策定されるかわからないこと。また、今まで議決事件でなかった計画であっても、方
向性が変わる大きな改正があった場合などにおいて、必要に応じて迅速に議決事件とするた
め、現時点では計画名を明記せず議長が必要と認めるものとしています。なお、施行は公布
日からとしています。以上です。

●山中議長(山中康樹) 以上で、提出者の説明は、終了いたしました。これより質疑に入ります。本件に対する質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

●山中議長(山中康樹) 無いようですので、質疑を終わります。

(委員長降壇)

●山中議長(山中康樹) これより討論に入ります。討論は、反対討論から始め、賛成討論、反対討論と交互に行います。はじめに、反対討論はありませんか

(「ありません」の声あり)

●山中議長(山中康樹) 賛成討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

●山中議長(山中康樹) 無いようですので、討論を終わり、これより採決に入ります。発委第2号に賛成の方の挙手を求めます。

●山中議長(山中康樹) はい、全員賛成。したがって、発委第2号、邑南町議会基本条例の一部改正につきましては、原案のとおり決定をいたしました。

~~~~~○~~~~~

散会宣告

●山中議長(山中康樹) 以上で、本日の日程はすべて議了いたしました。本日はこれにて散会といたします。

—— 午前10時00分 散会 ——

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

議 長

署名議員

署名議員